

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)の東日本大震災被災者支援

「天国のあの人へメッセージを届けたい」 三回忌追悼の集い開催のご案内

閑上中学校遺族会や地域の方々が亡くなった人を思いメッセージ風船を飛ばします

3月11日(月) 13:00～ 閑上中学校正門慰霊碑前(宮城県名取市)

国内外で緊急支援・復興支援活動を行う国際協力 NGO「公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)」(本部:京都市中京区、代表理事:小野 了代)の協力の下、震災から2年目となる2013年3月11日(月)、宮城県名取市にて閑上(ゆりあげ)中学校遺族会による追悼の集いが開催されます。大切な人を亡くした保護者や地域の方々が慰霊碑に集い、震災で亡くなった方たちへ向けてメッセージを書いた風船を飛ばします。

NICCO は宮城県名取市にて、東日本大震災で被災した方たちへの心のケア(心理社会的ケア)事業を行っています(共催:NPO法人 地球のステージ)。名取市立閑上中学校では14名の生徒が津波の犠牲となりました。NICCO 名取事務所は NPO 法人 地球のステージとともに、心のケア事業の一環として、心療内科医や心理カウンセラーによるアドバイスの下、閑上中学校遺族会の活動を支援してきました。

このイベントでは、震災によって閑上で子どもを亡くした方だけでなく、大切な人を亡くした方なら誰でも参加可能です。被災地域も問いません。これは、今後は閑上地区だけでなく、他の地域で子どもや大切な人を亡くした方々とも手を取り合って3年目を過ごしていきたい、という閑上中学校遺族会の意向によるものです。

つきましては、是非ともイベント当日のご取材・報道をお願いしたくご案内いたします。



震災によってうばわれた家族、友達、たくさん大切な命。あの日から二年を迎える(二〇一三年三月十一日(月))。閑上中学校慰霊碑前で、亡くなった大切な人たちへ向けてメッセージ風船を飛ばします。

大切な人を失い、メッセージを飛ばしたいと願う方なら地域を問わず、どなたでもご参加いただけます(震災以外で大切な人を亡くされた方も是非ご参加ください)。

開催日時: 2013年3月11日(月)
場所: 閑上中学校正門慰霊碑前(名取市閑上五十列1)
駐車場: 閑上生協跡地

開催概要
13:00 メッセージの受付開始
(閑上中学校前プレハブ「閑上の記憶」集会所にて)
14:30 開会の辞
閑上中学校遺族会会長挨拶
(遺族会)
14:46 黙祷
遺族会挨拶
15:10 風船飛ばし
15:20 閉会の辞
献花(一般)

注意事項
・当日は華美でない平服でお越し下さい。
・雨天、雪天候でも決行します。
・メッセージ用ハト風船がなくなり次第受付終了です。

※参加無料です。お問い合わせお誘い合わせの上、ご参加ください。
※お問い合わせはNPO法人「地球のステージ」事務局(022-738-9221)まで。

主催: 閑上中学校遺族会 支援団体: NPO法人「地球のステージ」/公益社団法人「日本国際民間協力会(NICCO)」



閑上中学校前慰霊碑

「天国のあの人へメッセージを届けたい」

三回忌追悼の集い 開催概要

- 開催日時 2013年3月11日(月) 受付 13:00 / 本番 14:30~16:00
- 開催場所 名取市立閑上中学校 正門慰霊碑
宮城県名取市閑上五十刈1 駐車場所: 閑上生協跡地
- 参加者 閑上中学校遺族会 約10名
震災で大切な方を失い、メッセージを共に飛ばしたいという方々(自由参加) 30~70名
- プログラム
 - 13:00 閑上中学校前プレハブ「閑上の記憶」でメッセージの受付開始
 - 14:30 開会の辞(NPO法人「地球のステージ」代表 桑山紀彦)
閑上中学校遺族会会長挨拶
献花(遺族)
 - 14:46 黙禱
遺族会メンバーからの挨拶
 - 15:10 メッセージ風船飛ばし
 - 15:20 閉会の辞(桑山紀彦)
献花(一般)
- 主催 閑上中学校遺族会
- 協力 公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)、NPO法人「地球のステージ」

お問い合わせ先 公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)

名取事務所(NPO法人 地球のステージ事務局内) 宗貞、桑島
 電話: 022-738-9221 携帯: 090-9342-0087/080-4035-3121
 E-mail: munesada@kyoto-nicco.org/kuwajima@kyoto-nicco.org
 東京事務所 豊島、佐藤 電話: 03-3221-5721 FAX: 03-5213-4875
 E-mail: info@kyoto-nicco.org URL: <http://www.kyoto-nicco.org>



【公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)の概要】

内閣府認定公益社団法人、特定公益増進法人【寄付金控除】、国連特別協議資格団体
 設立: 1979年12月、代表者: 理事長 小野 了代(おの・さとよ)

1979年の設立以来、途上国の人々の経済的・精神的な自立を図るため、環境保全型農業に基づく農村開発、職業訓練、緊急災害支援等の分野でアジア、中東、アフリカの各国で活動を展開。緊急支援事業では1995年の阪神淡路大震災でボランティアとして活動したほか、2008年にはミャンマーサイクロンと中国四川地震、2009年にはガザ人道危機とスマトラ島地震、2010年にはハイチ地震やパキスタン水害の被災者に対して、医療、物資配布、学校再建、心理社会的ケア、住宅再建支援を行いました。2011年に発生した東日本大震災では、岩手県陸前高田市と宮城県気仙沼市、名取市を中心に、心のケア、東北子どもの夢応援団、東北の名産品づくりによる経済復興支援、農業復興支援、ボランティア派遣等を実施しています。

報道機関の皆様へ <取材のご案内>

- ※イベント当日、NICCO、地球のステージスタッフへの取材が可能です。
- ※遺族の方々、参加される一般の方々への取材に関しては、本人の許可を得た上で行ってください。
- ※電源、ライン・三脚、箱馬等のご用意はございません。
- ※NICCOと地球のステージについての資料を当日お渡ししますので、報道時の団体名称の紹介にご協力ください。

■イベント開催の背景

「津波にさらわれて亡くなった息子が、あの日逃げようを目指した閑上中学校に、なんとしても慰霊碑を建ててあげたい」という遺族の想いの中、2011年11月13日に閑上小中学校遺族会が発足。2012年3月11日の2回忌に、閑上中学校前に念願の慰霊碑を建てることができ、除幕式を行いました。そして、その年の4月22日には慰霊碑を守る社務所として、閑上中学校前に「閑上の記憶」集会所を開所。それ以後も、定期的に「閑上の記憶」で遺族会を開催し、慰霊碑の清掃活動や今後の活動について話し合ってきました。3回忌の2013年3月11日、遺族会は慰霊碑前からメッセージ付きのハト風船を、津波で亡くした息子、娘、そして大切な人たちに向けて飛ばすことにしました。

このイベントでは、震災によって閑上で子どもを亡くした方だけでなく、大切な人を亡くした方なら誰でも参加可能です。被災地域も問いません。閑上中学校遺族会は、今後は閑上だけでなく、他の地域で子どもや大切な人を亡くした方たちとも手を取り合い、3年目を過ごしていきたいと望まれています。

■イベントの目的

1. イベント参加を通して、心身のストレスや不満を解消、軽減することが出来る。
2. 震災で亡くなった方へのメッセージを飛ばすことにより、心の整理を図る。
3. 遺族の方々の間でのコミュニケーションを図り、交流を促進させる。
4. 参加者全員が同じ時間を共有し、3年目も共に助け合い歩んで行くことを確認する。

■イベント開催にあたっての注意

1. 当日は華美でない平服でご参加ください。
2. 雨天や雪天候でも決行します。
3. メッセージ用ハト風船がなくなり次第、受付終了となります。

共催「特定非営利活動法人 地球のステージ」について



地球のステージとは、国際医療協力を中心に心のケアなどで活動する心療内科医 桑山紀彦氏が行い「紛争、貧困、災害地の子どもたちに音楽と映像で近づこう」と国際理解講座として年間約250回以上開催しているコンサートステージ。

これまで東ティモールやパレスチナガザ地区での活動継続に加えて、今回の東日本大震災では自身が院長を務める旧「東北国際クリニック」(現医療法人「東北国際医療会ゆりあげクリニック」)が被災。その後、地域で唯一の医療機関として、24時間診療や各避難所巡回医療支援を実施。現在は、NICCO と協同の下、被災小学校への心のケアやご遺族の遺族会事務局など、地元で被災者と共に歩む支援活動、心理社会的ケアを行い続けています。